

LibreOffice 4.0 の新機能紹介

LibreOffice 4.0.0 が 2 月上旬にリリースされます。メジャーアップグレードということで多くの新機能が追加されています。ここで幾つかの注目の新機能をご紹介します。

Calc

パフォーマンスの向上

Calc をより使いやすくするための工夫が取り入れられます。

- ODS のドキュメントインポートのパフォーマンスが向上しました。
- ODS および XLSX ファイルを開くとき、数式を直接再計算せず、式の値を表示することにより、大きなファイルのオープンも高速になりました
- 大規模なオートコレクトの置換テーブルに、新しいエントリを追加するためのパフォーマンスが大幅に向上しました。
- ODF 文書のサイズ制限 (非圧縮) を 2GB から 4GB まで増加しました。

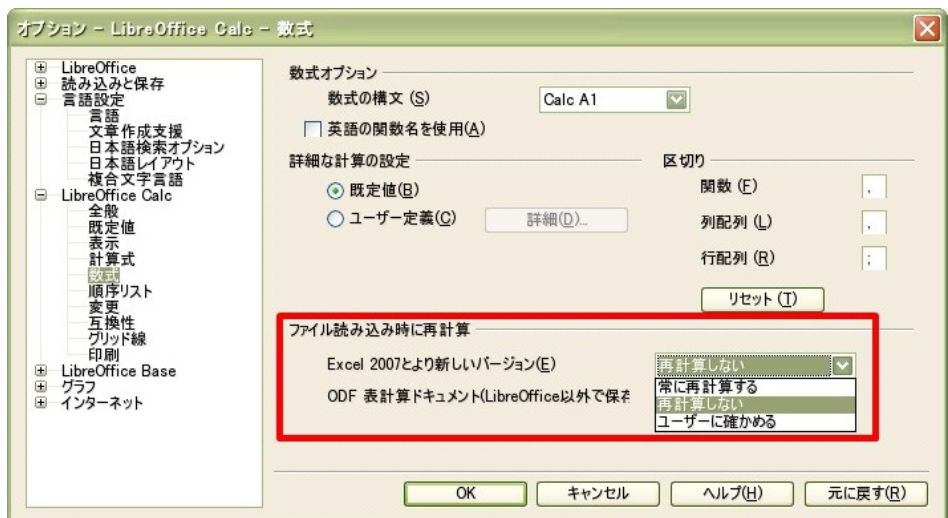


図 1: ファイル読み込み時のオプション

使いやすさの向上

Calc をより使いやすくするための工夫が取り入れられます。

- 条件付き書式が改良され、カラースケールやデータバー、アイコンセットが利用可能となりました

xlsxからのインポートも可能に



2. 図: 条件付き書式

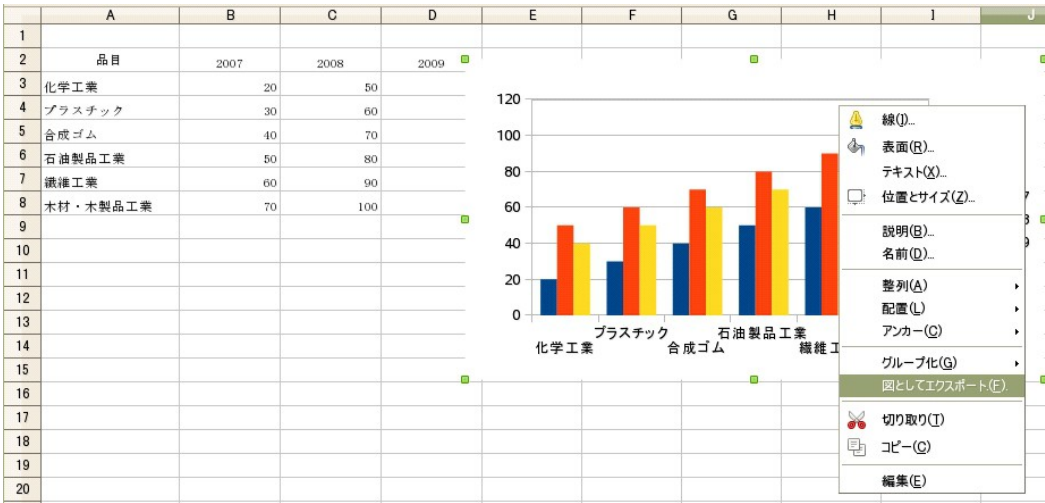
- ポップアップオートフィルタで "先行入力" の検索をサポートしました

- ピボットテーブルで複数のページフィールド選択をサポートしました



図 3: 複数ページフィールド選択

- 作成したグラフを図としてエクスポートが可能となりました。(BMP,JPEG,PNG,SVG など主要形式をサポート)



4. 図: グラフエクスポート

新たに追加された関数群

新しく下記のスプレッド関数が利用できるようになりました。(2007 以降の MSO との互換性がさらに向上)

| | |
|-------------|------------------------------------|
| AVERAGEIF | 指定の条件にあったセルの値を平均します |
| AVERAGEIFS | 複数の範囲において複数の条件を満たすセルの値の平均値 |
| COUNTIFS | 複数の範囲で複数の条件を満たすセルを数える |
| OPT_BARRIER | バリアオプションの価格付け |
| OPT_TOUCH | pricing of a touch/no-touch option |
| SUMIFS | 複数の範囲で複数の条件にあった範囲内のセルの値を合計します |
| XOR | 奇数個の引数が TRUE と評価された場合に TRUE を返す |

パフォーマンスの向上

多数の図形描画を含むスライドや、Draw のロード／セーブ時間が大幅に改善されました。

使いやすさの向上

- Impress のサイドペインの状態が記憶されるようになりました。
- マルチメディアのプレビューが可能となりました。

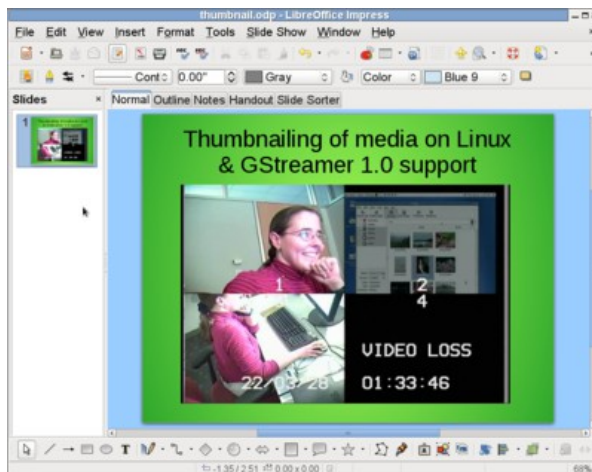


図 5: Impress にメディアサムネイルを表示

- Linecap の改善: 丸いキャップを追加しました。



図 6: 丸みを帯びたラインキャップ

- Impress にあった「円と楕円」のツールバーが、Draw でも利用可能になりました

ビットマップ画像の拡張編集

埋め込まれた、ビットマップの編集が、外部ツールを使って出来るようになり、より画像編集が簡単に、使いなれたツールを利用できるようになりました。

リモートコントロール

アンドロイド携帯向けに、Impress のリモートコントロール機能を提供しました。(※Bluetooth を介し、一部の Linux のみ対応)

コメント機能の強化

これまでのコメントは、コメントの先頭を示すだけでしたが、コメント箇所全体に色が付くようになりました。

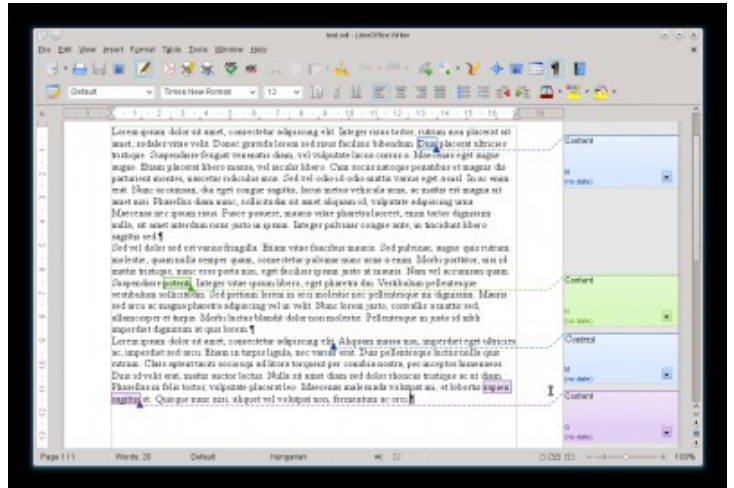


図 7: 文書のテキスト範囲に対してコメントを付与

ワードカウントのための新しいオプション

単語を数える目的のため、語境界の文字になるよう、長いダッシュ()と短いダッシュ(-)が追加され、ユーザーは追加された語境界文字を指定することができるようになりました。

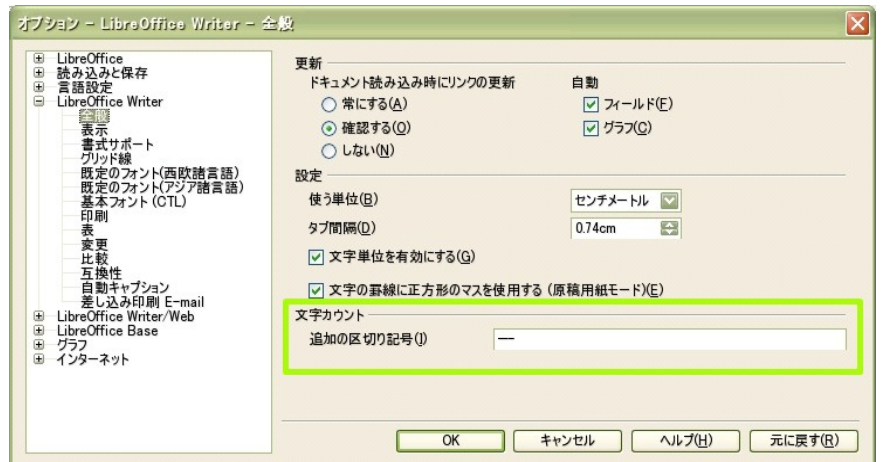


図 8: ワードカウントオプション

ヘッダ／フッタの新しいオプション

別のページスタイルを使用せずに、最初のページに異なるヘッダとフッターを付ける事ができるようになりました。



図 9: オプション

Logo グラフィックスの導入

Writer にタートルベクターグラフィックスの機能が追加されました。Python ベースの PyUNO で実装され簡易なプログラミングインターフェースを提供しています。Logo のツールバーからコマンドを入れるだけで、描画することができます。

実行コマンド: `repeat 500 [circle 10 + recount/10 fd 5 + recount/10 lt 10]`

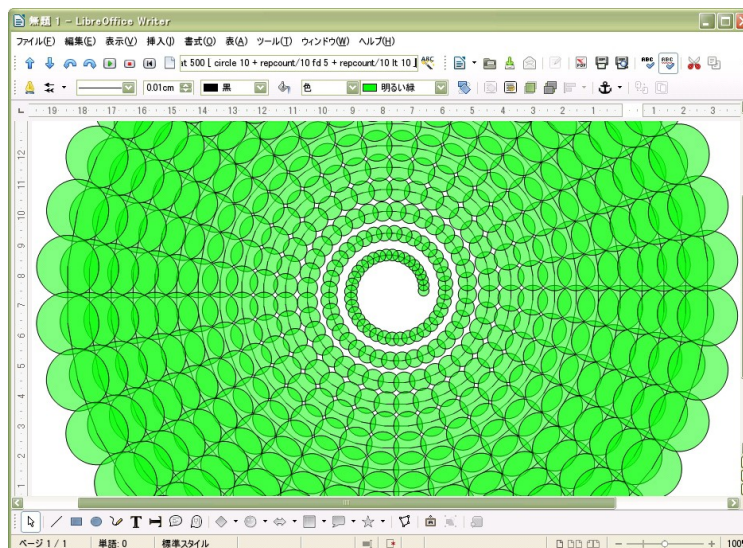


図 10: ログ実行例

Base

Thunderbird のアドレス帳連携

非 Windows ユーザー向けに mork ドライバーを用いた Thunderbird のアドレス帳連携がサポートされました。(Debian/Ubuntu ユーザー向け)

不具合の修正

フォームやオートフィルタで値がパターンとなってしまった問題を解決しました。"A*"のオートフィルタは、A で始まるすべての値と一致でなく、"A*"という値を指定します。

全般

CMIS のサポート

Alfresco、Nuxeo、SharePoint などの文書管理システムに格納された文書に簡単にアクセスするための CMIS プロトコルがサポートされました。

セッションインストーラの統合

実行中にオンザフライで LibreOffice の足りない部分を追加するための、セッション・インストーラの統合

Java コードの削減

Python で Fax とレターウィザードをポーティングし直しました

新たなフォントの提供

4つの新しいオープンソースのフォントファミリーを提供しました。

Open Sans (Ascender), PT Serif (ParaType), Source Code Pro and Source Sans Pro (Adobe)

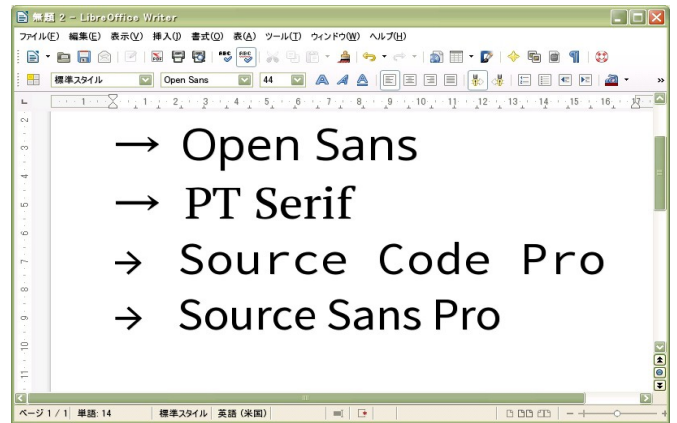


図 11: 新しくバンドルされたフォント

Filter の改善

フィルタプログラムの改善により、対応範囲が拡大しました。

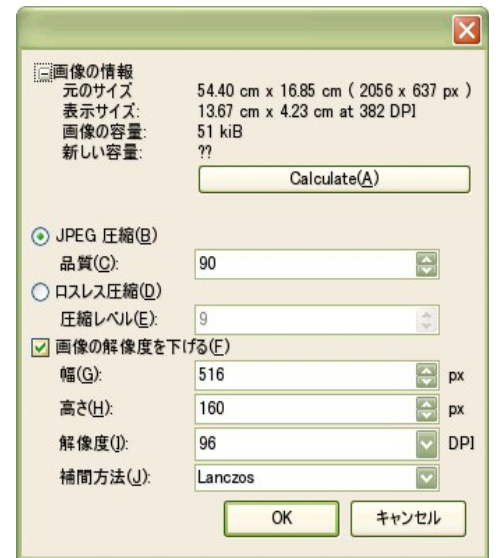
- MS Publisher 形式のインポートフィルタ
- Visio のファイル形式の対応範囲の拡大 (Visio1.0->Visio2013 まで対応)
- 様々な ODF の互換性を改善

グラフィックデータの扱いが容易に

組み込まれた圧縮形式の画像データに対応した新たな機能が追加されました。

(Draw, Impress 及び Calc で利用可能)

- グラフィックのサイズ変更や再圧縮が可能
- グラフィック情報を表示
- アルゴリズムの変更、圧縮レベル／品質が変更可能
- 外部ツールを使った編集が可能
- ポップアップメニューのオプションを統一 (図の保存)
- 画像表示の質が向上しました。

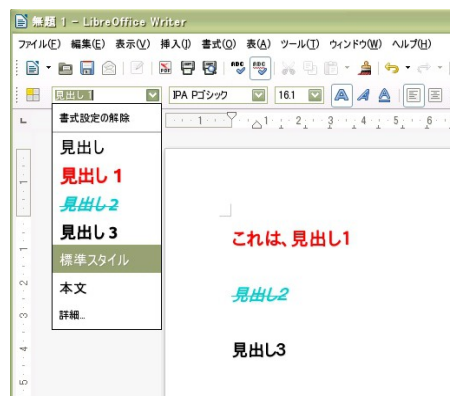


12. 図: 画像の圧縮ダイアログ

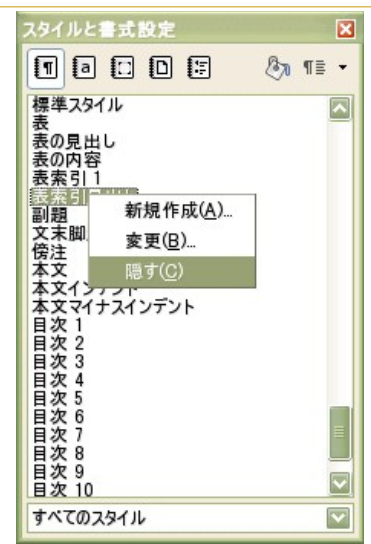
書式スタイルの選択が容易に

スタイルの選択がより分かりやすくなりました。

- ツールバーの「スタイルの適用」コンボボックスに、選択するスタイルのプレビューを提供しました。
- 「スタイルと書式設定」ダイアログで、スタイルの設定で隠すのメニューが追加されました。(隠したスタイルは、非表示スタイルで戻せます)



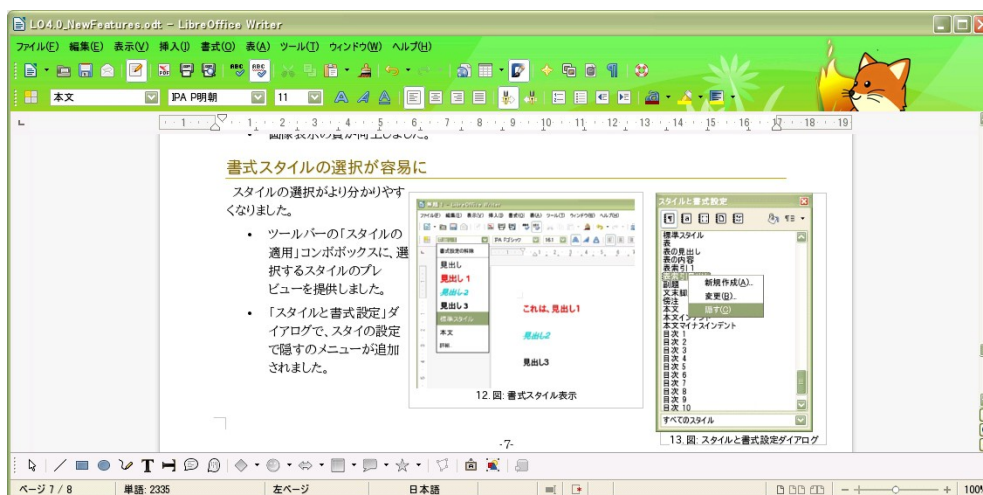
13 図: 書式スタイル表示



14. 図: スタイルと書式設定ダイアログ

Firefox のペルソナが利用可能に

Firefox のテーマ機能であるペルソナを LibreOffice でサポートします。LibreOffice の 4.0 では、「ツール」「オプション」「個人設定」「独自の Persona」で選択することができます。



13. 図: ペルソナテーマ設定

テンプレートマネージャーが新しくなりました

新しいテンプレートマネージャーでは、全てのテンプレートが見えるようになっています。



14. 図: テンプレートマネージャー

一部の拡張機能が標準から外れました

PDF インポート、プレゼンターコンソール、および Python スクリプトプロバイダが拡張機能でなく、コアプログラムに追加されました。

注意点

LibreOffice 4.0を使用するにあたって以下の点に注意してください。

- レガシーの StarSuite (バージョン 1.x→5.x) のファイルサポートが削除されました。
- 旧 Word と Excel (バージョン 6.0/95) ファイルへのエクスポートのサポートを外した。これらのファイルはまだ開くことができるが、デフォルトのフォーマット (通常.odt/.ods) で保存されます。
- 旧来の STLport ライブラリで古い拡張機能に対応する互換性を落としました。
- 10.6 にベースラインを上げ、プラットフォームとして Mac/ PPC を廃止しました。

UNO API の変更

UNO API サービスやインターフェースが、変更、修正されています。

- XDocumentInfo の UNO インタフェースが削除され、XDocumentProperties が使用可能となりました。
- UNO の例外処理 `com.sun.star.lang.IllegalArgumentException` は `com.sun.star.uno.Exception` に変わりました。
- `com.sun.star.ui.UICommandDescription` は `com.sun.star.frame.UICommandDescription` に名前が変わりました。

詳細は、サイトに掲載しておりますので、参照願います。

LibreOffice Japanese Team について

LibreOffice Japanese Team の情報は以下の方法で発信しています。

Twitter

アカウントは @LibreOffice_Ja です。

FaceBook

<http://ja-jp.facebook.com/LibreOfficeJa>

メーリングリスト

announce@ja.libreoffice.org